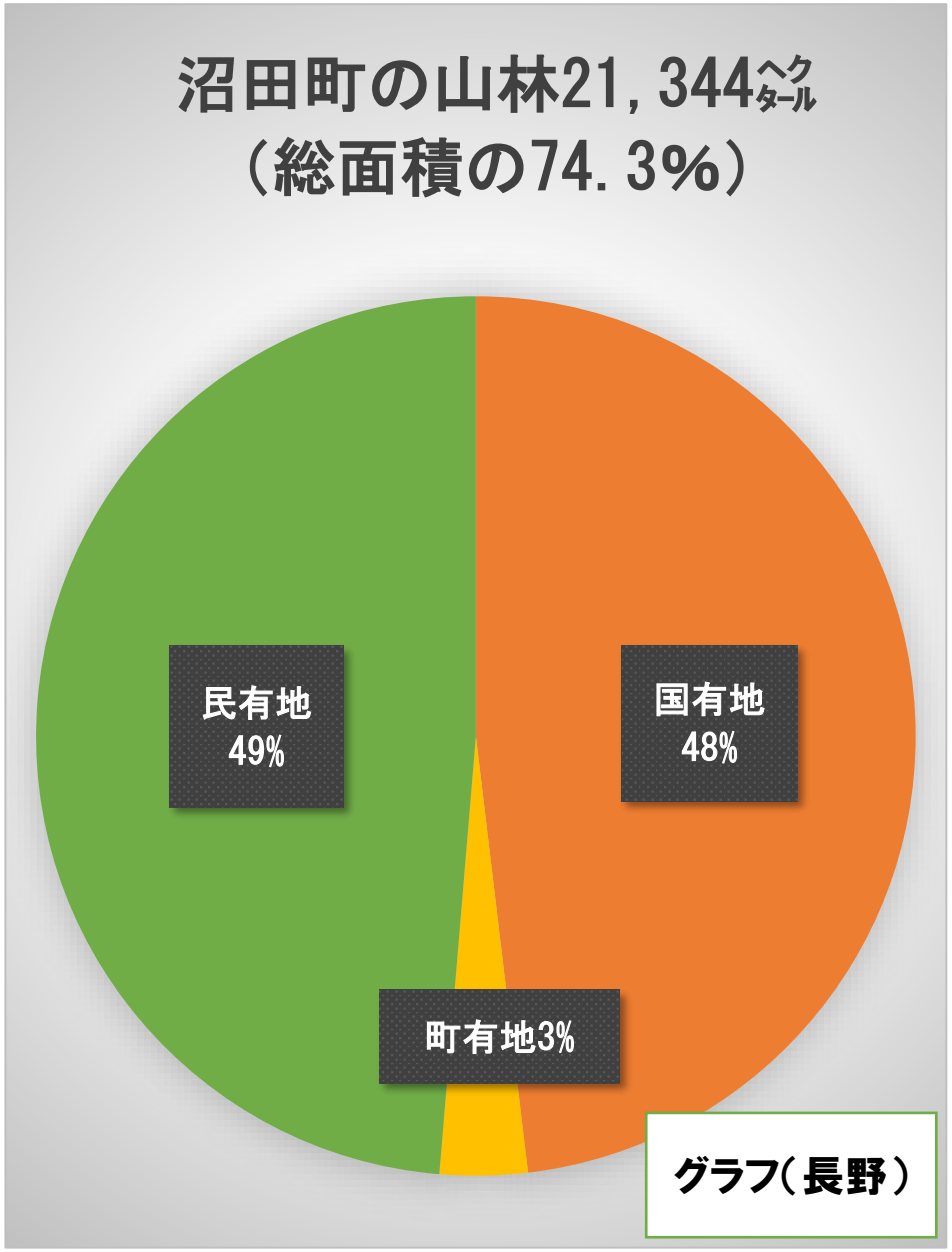
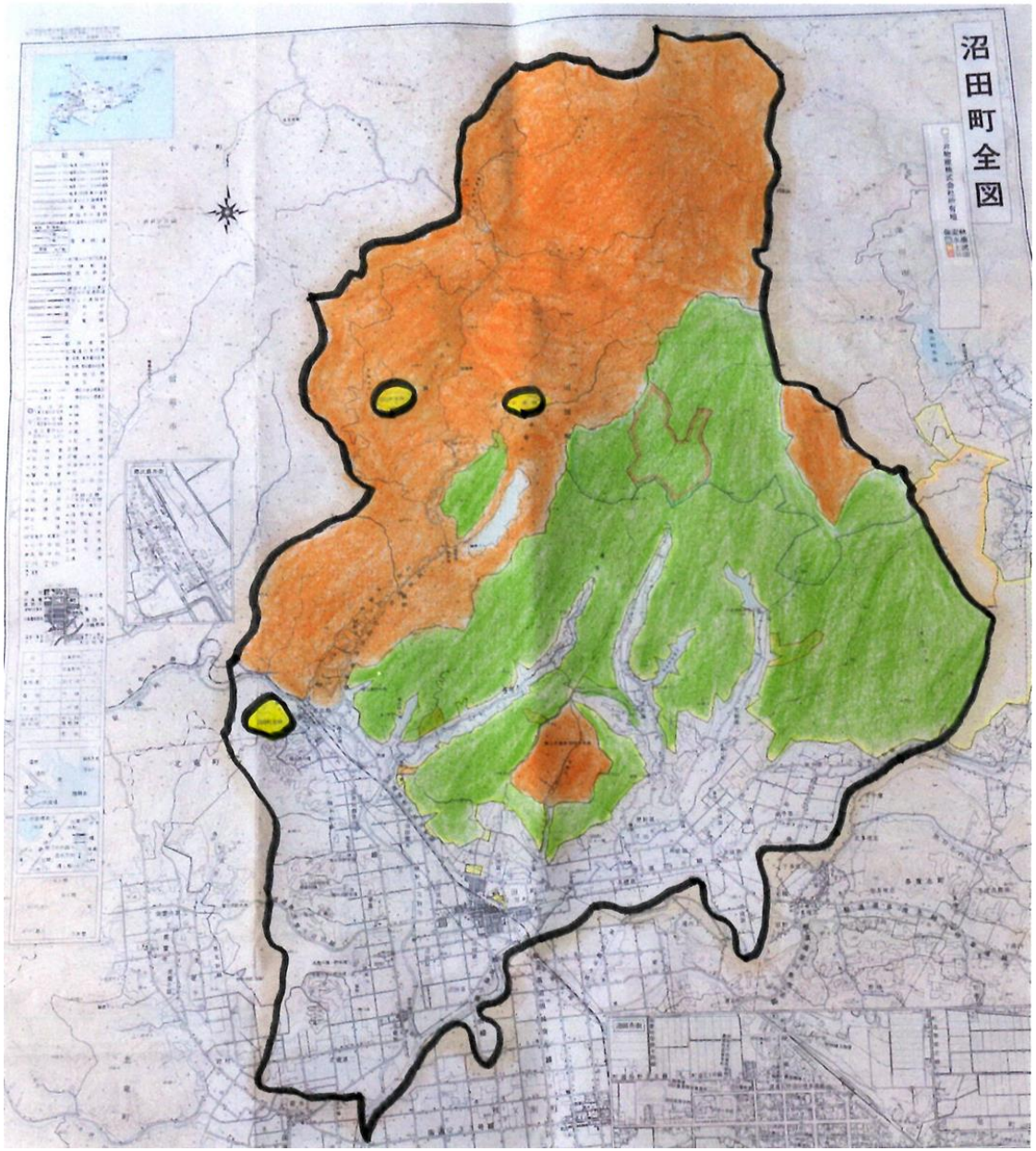
【町長】

	7	質問議員	長野議員
質問項目	沼田の宝「町有林」の有効活用で定住人口アップの町づくりを		
質問内容	北海道、特に空知地方では、人口減に歯止めがかからない状況が憂慮されています。移住・定住に力を入れる沼田町は、この度「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、これまで以上に沼田の魅力発信が期待されます。そこで、沼田の宝「町有林」の有効活用に着目し、定住人口アップの町づくりの願いを込めて質問いたします。 １　沼田町のグリーン成長の考え方は 森林・林業基本計画（林野庁）では、「人々が森林の発揮する多面的機能の恩恵を享受できるようにすることを通じて、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する『グリーン成長』を実現する」こととしています。 広大な森林を擁する沼田町では、「第６次総合計画における施策：林業の振興」と「環境に配慮したゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、①森林の保全と CO2 削減、②水源かん養、③木材生産など、未来に繋げる森林の可能性について、どのように進めようと考えていますか。 ２　町有林を活かす「自伐型林業」による人口アップを 688㌶の町有林について、１チーム１年 10㌶の自伐型林業（調査→間伐→天然更新）の管理委託のサイクル確立により、森が元気になり、CO２吸収など、多面的機能の発揮が期待できます。また、間伐材の加工販売を通して、新たな雇用と成功例の創出も期待できます。その結果、定住人口アップに繋がると考えますが、どのように進めますか。		

山林の分布:出典「沼田町史(土地面積調べより)」

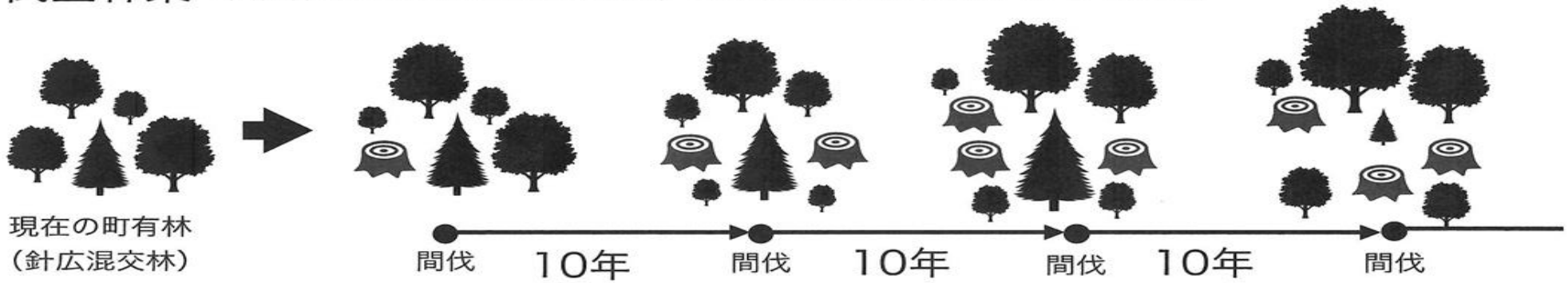




現行林業と自伐型林業：資料作成（長野）

現行林業　50年に一度の皆伐、森がない時期がある

自伐型林業　常設作業道を用いた多間伐、天然更新により森がいつも元気



環境性

自伐型林業の施業により、森を健康な状態で管理することができる

★ＣＯ２吸収増大【ゼロカーボンシティ実現への貢献】

★健全な根が地下に広がる【土砂災害防止、水源かん養】

経済性

★細かい間伐を繰り返すことにより継続的な収入源になる

★作業道を高密度に作ることで搬出コストを下げることができる

自伐型林業のサイクルにより次世代の木は天然更新するよう促す（植林コストゼロ）

【町長】

通告順	８	質問議員	大沼議員
質問項目	一般行政（住み続けてもらうために）		
質問内容	１　新型コロナウイルス感染者が広がる中、本町においては町民の自助努力により感染者が出ていないと感じています。しかしワクチン接種後、間違った情報を信じる方もいるようです。（資料１） イ、ＴＶ、新聞の情報と町民向けの情報を区分けしてはどうか。 ロ、基本的な感染対策の徹底を進めるためにわかりやすいポップの作成をして配布してはどうか。 １　少しでも冬期間をすごしやすくするために高齢世帯等除雪費助成要綱の見直しを含めた除雪費、除雪道具費の助成をしてはどうか。 また、業者は燃料価格の高止まりと排雪場所の確保に苦慮しています。 市街地の空き地を排雪場所として確保できないか。 １　道路の除草について（資料２） 新設道路工事はほぼ完了していると思います。道路維持管理の考え方を聞きたい。 １　交通標識の設置について（資料３） 公安委員会指定の標識が付いていても見落としはあります。 反射板やＬＥＤを利用した視認しやすい標識作成と設置をできないか。		

町民の自助努力が功を奏している

資料 1

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第39版）

令和3年8月19日発行 沼田町新型コロナウイルス感染症対策本部（役場保健福祉課 ☎35-2120）

北海道まん延防止等重点措置の期間延長と区域拡大

令和３年８月２日（月）～ ９月１２日（日）まで

（ 8/14 から石狩管内市町村と小樽市、8/20 から旭川市を追加 ）

道内の新規感染者数は、一日 400 人を超える日が続いています。直近一週間の検査では、約 70%がデルタ株に置き換わっており、医療提供体制への負荷が増しています。これらのことから、まん延防止等重点措置期間が延長され、さらには区域も拡大されました。

措置区域：札幌市 江別市 千歳市 恵庭市 北広島市 石狩市 当別町 新篠津村 小樽市 旭川市

基本的な感染対策の徹底、不要不急の外出自粛、混雑した場所等への外出半減、飲食店等への各種要請、イベント開催制限、テレワーク等の推進、学校活動の制限、公共施設の原則休館等。

措置区域以外：上記以外の道内市町村（沼田町含む）

◆感染性が高いデルタ株への置き換わりを踏まえ、基本的な感染対策の徹底

◆混雑した場所等への外出を半減する。

◆不要不急の外出を控える。

特に道内の措置区域（※上記参照）との往来や都道府県間の移動を極力控える。

◆食事は少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話はマスク着用

◆イベント開催時の各種制限と要請

◆テレワークの活用等、在宅勤務やローテーション勤務の推進

◆学校教育活動、学生寮における感染防止対策の徹底

詳しくは北海道のホームページをご確認ください。

デルタ株ウイルスによる感染拡大、基本的な感染対策の徹底を！

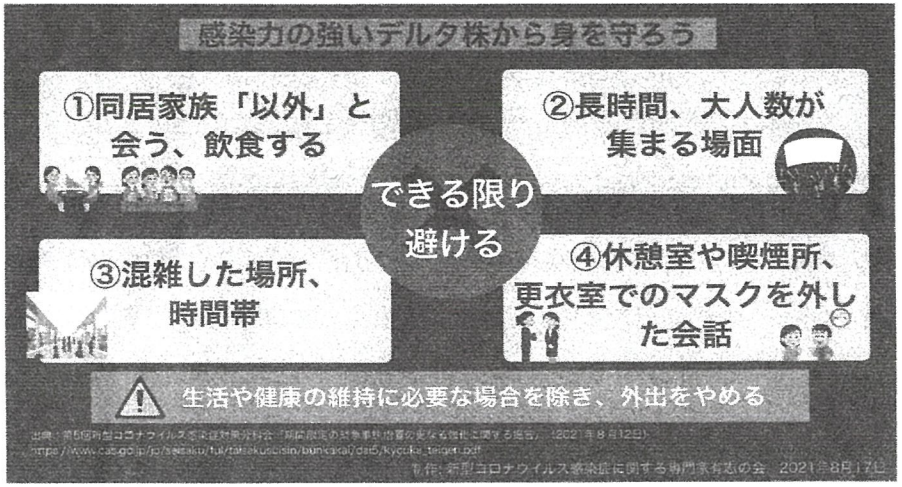
マスクの着用

人との距離を確保

手洗い 手指消毒

密閉 密集 密接しない

こまめな換気



いつもと違う体調の時は、登校や出勤せずにすみやかに受診してください。鼻水や咳等の軽い症状や、ワクチン接種済みであることへの過信は禁物です。

窓口	電話番号	開設時間	専門的な相談	一般相談
北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター	0120-501-507（通話料無料）	24 時間 365 日	○	○
北海道深川保健所	(0164)22-1421	平日 8:45~17:30（土日祝年末年始を除く）	○	○
沼田町役場保健福祉課	(0164)35-2120	平日 8:45~17:15（土日祝年末年始を除く）	―	○

裏面もご覧ください

商品券はとても好評　町外でも沼田はすごいと評価されている

資料 2

景観がよろしくない

歩道の幅がなくならないうちに

町内会、 地先、 委託業者と相談を

資料 3

交通事故から町民の命を守るために
危険個所に独自の標識設置を

秩父別町

妹背牛町

公安委員会に頼らなくても